

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せておきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和7年11月21日(金)

た言葉。
「寒からず」
「動けばいい」
そんないじな言わ
れてねえなどと思
つていたが、最近は
そうでもない。休日
の午前中から遅い午
後にかけては、家で
じつとしているより
体を動かしていた方
が、体調が良いくつ
に感じている。ピー
ターを効かせた狭い
部屋では何となく気
持ちの健康が保てな
いような気がするの
は私だけではないと
思う。体を動かすこと
によつて体の中から
熱をもつくる、体を
温めるといふことは
健康維持のために重
要なことだ。実際に經
済的で理に適つた方
法だ。

便利な世の中にな
つて、多くの不便さ
はお金でかけること
によつて解決はでき
る。しかし、それでも
良いのかとも思ひ、
スマホにしてむか
にしても、無くても
困らない時代があ
たはあた。「あつき」
で考へるか、不便
さが強調されるので
はないかと、私は思
うのだ。

雑感

働き方雑感

子供達が生む未来社会③

シーチーズ「自分を語れ」#103

平成10年度の学級「おもてなし会議」において不登校回の反省会が行われました。私は子供たち

も達を観察する視点として、現象だけでなく家庭背景や本人の性格（特徴や授業

の視点から）、お家の人のための願いや参考になります。確かにこのお子さんの不登校

傾向の理由は「通学」でした。しかしながら理由は驚かれることが多い、「ゲーム

がいい」、「トランが良い」と云つたのが多かった。これらの話を聞いてみると、

学校が家にいるのも魅力的な場所に過ぎないのです。と言つても簡単な

ものではありません。保護者の皆様がおもてなしの我が家が「学校は好き嫌いどちら

勉強は嫌い」と云つた時があります。なぜかと尋ねると、「子供の年」徹底してしまったことを繰りか

ねてお達し頂きました。

基本の考え方「時を守る、場を整へ、礼を重へ」これらを基本として

第1回「嘘をつけなよ。」

第2回「タメのばはダメ、せいやそこからいいからやべ。」(豊川市内の書店)

第3回「規則が守られる班級を目標だ。」

第4回「正義が詰められず最終目標だ。」

第5回「せいやわがままは許さればよ。」

この年に担任させて頂いた学級は、元気も少し体力の高いお子さんが多い集団でした。特に勉強に関しては、それまでの職員が伝統的に鐵ておこなつたおおかげでした。この学級の教子係から「医師」がつ任務で、現場で活躍していく二人

は必ず私に連絡をくれます。「あなたの病院で検査してみたさ。」とか、「先生のホ

ムドクターになりました」と書いてくれます。でも複雑です。少々怖いです。彼の

小学生時代を知つておきたい…。話が逸れましたが、もとに医師として…。

不登校傾向のお子さんたちはとても優しく、誰から親しまれていました。彼はゲーム

じてしがいも好きで、大器説かもしませんが「優等生志向」といっても

うで「これでなければ」とお家のへかたしやゲームの横に食事を持つて行って

あけていたりです。これが成長期の子と母に限らなければあります。その辺りか

らアカシックを起きたんだからこの子は本物の不登校になつてしまふ。可哀想ですが

とにかくこの子が不登校になつてしまつた。

4月は調子よく登校していた彼ですが、「ホールランウイーク明けからの雲行きが怪

しきなつてきました。やがて朝から猛烈に行く作戦を講じました。私が迎えに行

いつけトイハイクの話題を出しましたが、彼は無事に夏休みを渡すことができた。

トイハイクの参加申し込みをしていて、私が勤めた学生部の先生方が、あまりの